

安全なくして会社なし

網走工業が安全衛生大会

講話通し 労災撲滅誓う

て強調。「維持管理部門では二十四時間、三百六十五日体制で臨んでいる。常に危険と隣り合わせで、日々が訓練」と他の模範となるよう呼びかけた。

さらに、「もしよかったら」という各自によるコミュニケーションの重要性を示しながら、「基本を守って作業していると思うが、仕事を終えてからも安全だけは気を抜かないように」と要請。「安全なくして会社なし」と語気を強めた。

福井雅彦事業部長は、全国安全週間準備期間の周知とともに、「安全は人から言われるのではなく、危険な個所や注意する点を各自が気付くことが重要」と述べ、「安全意識の向上を図り、災害ゼロから危険ゼロ実現を」と訴えた。

網走警察署の宇賀好裕交通係長が「交通安全について、網走市健康管理課の須藤敦美管理栄養士が「健康管理について」と題して講話。参加者代表が労働安全決意宣言したほか、最後

開会あいさつに立った笠谷社長は、東日本大震災や全国各地での台風被害、記録的な豪雪などについてふれながら、防災・減災という意味での社会資本整備の必要性をあらため



社

に中山寿恵常務が一年間の無事故・無災害達成に向けた基本方針を再確認した。